



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月31日

上場会社名 明星工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1976 URL <https://www.meisei-kogyo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 大谷 壽輝
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 山本 進 TEL 06-6447-0275
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	39,891	16.1	4,266	27.0	4,611	26.7	2,918	18.1
2022年3月期第3四半期	34,372	△4.5	3,359	△17.7	3,640	△14.9	2,472	△14.6

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 3,444百万円 (34.1%) 2022年3月期第3四半期 2,568百万円 (△15.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	58.63	—
2022年3月期第3四半期	48.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	73,901	57,807	77.7	1,152.84
2022年3月期	71,149	55,924	78.1	1,116.33

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 57,410百万円 2022年3月期 55,562百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
2023年3月期	—	12.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	16.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	7.5	5,600	4.9	5,800	2.8	3,950	4.1	79.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	56,386,718株	2022年3月期	56,386,718株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	6,587,291株	2022年3月期	6,614,632株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	49,786,665株	2022年3月期3Q	51,177,972株

(注) 期末自己株式数には役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めて記載しております。また、期中平均株式数（四半期累計）の算定に当たり、その計算において控除する自己株式に、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	8
3. 補足情報	9
(1) 受注高、売上高及び受注残高の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に関する制限緩和により国内の経済活動に回復の兆しが見られました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化により物価・資源の高騰が続き、国内外に与える経済の影響に今後一層注視していく必要があります。

このような経済状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の受注高は、建設工事業が堅調に推移したため、45,440百万円（前年同期比18.5%増）の計上となりました。売上高は、建設工事業、ボイラ事業ともに増加したことにより、39,891百万円（同16.1%増）の計上となりました。

また、利益面につきましても、売上高の増加に伴い、営業利益は4,266百万円（前年同期比27.0%増）、経常利益は4,611百万円（同26.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は減損損失の計上により2,918百万円（同18.1%増）の計上となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①建設工事業

国内外における工事が堅調に推移したことにより、売上高は35,141百万円（前年同期比12.8%増）の計上となりました。また、売上高増加に伴いセグメント利益は3,914百万円（同19.6%増）の計上となりました。

②ボイラ事業

国内大型案件が順調に推移し、またメンテナンス工事も増加したことにより、売上高は4,749百万円（前年同期比48.2%増）の計上となりました。セグメント利益は売上高の増加及びコスト抑制に伴い344百万円（同326.3%増）の計上となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は52,242百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,394百万円増加いたしました。主な要因は現金預金の増加1,675百万円、未成工事支出金の増加413百万円、受取手形・完成工事未収入金等の減少40百万円であります。固定資産は21,659百万円となり、前連結会計年度末に比べ357百万円増加いたしました。主な要因は有形固定資産の増加208百万円であります。

この結果、資産合計は73,901百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,752百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は12,067百万円となり、前連結会計年度末に比べ191百万円増加いたしました。主な要因は支払手形・工事未払金等の増加1,076百万円、短期借入金の減少960百万円、未払法人税等の減少420百万円であります。固定負債は4,027百万円となり、前連結会計年度末に比べ679百万円増加いたしました。主な要因は長期借入金の増加800百万円、退職給付に係る負債の減少66百万円であります。

この結果、負債合計は16,094百万円となり、前連結会計年度末に比べ870百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は57,807百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,882百万円増加いたしました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加2,918百万円、剰余金の配当による減少1,600百万円であります。

この結果、自己資本比率は77.7%（前連結会計年度末は78.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績（売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益）につきましては、2022年10月31日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	27,192	28,867
受取手形・完成工事未収入金等	21,203	21,162
有価証券	300	300
未成工事支出金	554	968
商品及び製品	278	312
原材料及び貯蔵品	190	189
その他	143	456
貸倒引当金	△16	△15
流動資産合計	49,847	52,242
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	10,040	10,096
機械・運搬具	4,798	4,989
土地	11,200	11,433
その他	2,212	2,375
減価償却累計額	△13,148	△13,583
有形固定資産合計	15,102	15,311
無形固定資産		
	74	67
投資その他の資産		
投資有価証券	3,731	3,765
投資不動産	2,007	1,972
退職給付に係る資産	30	10
繰延税金資産	15	-
その他	431	633
貸倒引当金	△91	△101
投資その他の資産合計	6,124	6,281
固定資産合計	21,301	21,659
資産合計	71,149	73,901

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	6,582	7,659
買掛金	181	226
短期借入金	960	-
未払法人税等	847	427
契約負債	1,201	1,359
賞与引当金	432	152
役員賞与引当金	85	-
完成工事補償引当金	94	49
工事損失引当金	-	3
その他	1,490	2,187
流動負債合計	11,876	12,067
固定負債		
長期借入金	-	800
退職給付に係る負債	175	109
役員退職慰労引当金	168	138
役員株式給付引当金	112	115
繰延税金負債	1,948	1,978
再評価に係る繰延税金負債	483	483
資産除去債務	16	16
その他	442	386
固定負債合計	3,348	4,027
負債合計	15,224	16,094
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,889	6,889
資本剰余金	999	1,000
利益剰余金	48,317	49,635
自己株式	△3,071	△3,050
株主資本合計	53,134	54,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	932	1,017
土地再評価差額金	958	958
為替換算調整勘定	427	861
退職給付に係る調整累計額	108	100
その他の包括利益累計額合計	2,427	2,937
非支配株主持分	362	396
純資産合計	55,924	57,807
負債純資産合計	71,149	73,901

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
完成工事高	34,372	39,891
完成工事原価	27,799	32,263
完成工事総利益	6,572	7,627
販売費及び一般管理費	3,213	3,361
営業利益	3,359	4,266
営業外収益		
受取利息	13	18
受取配当金	96	106
不動産賃貸料	175	177
為替差益	-	28
その他	128	142
営業外収益合計	414	473
営業外費用		
支払利息	3	3
不動産賃貸原価	102	100
為替差損	3	-
その他	25	24
営業外費用合計	133	128
経常利益	3,640	4,611
特別損失		
減損損失	-	356
特別損失合計	-	356
税金等調整前四半期純利益	3,640	4,255
法人税、住民税及び事業税	983	1,310
法人税等調整額	181	10
法人税等合計	1,164	1,320
四半期純利益	2,475	2,934
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	16
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,472	2,918

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	2,475	2,934
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46	84
為替換算調整勘定	140	433
退職給付に係る調整額	△1	△8
その他の包括利益合計	92	509
四半期包括利益	2,568	3,444
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,564	3,428
非支配株主に係る四半期包括利益	3	16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計基準適用指針の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	建設工事業	ボイラ事業	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
日本	28,520	3,175	31,696	—	31,696
アジア	2,643	28	2,671	—	2,671
その他	2	2	4	—	4
顧客との契約から生じる収益	31,166	3,206	34,372	—	34,372
外部顧客への売上高	31,166	3,206	34,372	—	34,372
セグメント間の内部売上高又は 振替高	7	238	245	(245)	—
計	31,173	3,444	34,618	(245)	34,372
セグメント利益	3,271	80	3,352	7	3,359

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	建設工事業	ボイラ事業	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
日本	30,816	4,723	35,540	—	35,540
アジア	4,324	25	4,350	—	4,350
その他	—	0	0	—	0
顧客との契約から生じる収益	35,141	4,749	39,891	—	39,891
外部顧客への売上高	35,141	4,749	39,891	—	39,891
セグメント間の内部売上高又は 振替高	19	218	237	(237)	—
計	35,160	4,968	40,129	(237)	39,891
セグメント利益	3,914	344	4,259	7	4,266

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

「ボイラ事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては356百万円であります。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、(セグメント情報等)に記載のとおりであります。

3. 補足情報

(1) 受注高、売上高及び受注残高の状況

a. 受注高

区 分	2022年3月期 第3四半期		2023年3月期 第3四半期		対前年同期 増減	2022年3月期	
	金額(百万円)	%	金額(百万円)	%		金額(百万円)	%
建設工事業	33,874	88.3	40,886	90.0	7,011	47,901	88.8
ボイラ事業	4,468	11.7	4,553	10.0	85	6,019	11.2
合 計	38,342	100.0	45,440	100.0	7,097	53,921	100.0

b. 売上高

区 分	2022年3月期 第3四半期		2023年3月期 第3四半期		対前年同期 増減	2022年3月期	
	金額(百万円)	%	金額(百万円)	%		金額(百万円)	%
建設工事業	31,166	90.7	35,141	88.1	3,974	43,637	90.2
ボイラ事業	3,206	9.3	4,749	11.9	1,543	4,751	9.8
合 計	34,372	100.0	39,891	100.0	5,518	48,389	100.0

c. 受注残高

区 分	2022年3月期 第3四半期		2023年3月期 第3四半期		対前年同期 増減	2022年3月期	
	金額(百万円)	%	金額(百万円)	%		金額(百万円)	%
建設工事業	14,905	75.3	22,206	82.5	7,300	16,461	77.1
ボイラ事業	4,896	24.7	4,706	17.5	△190	4,902	22.9
合 計	19,802	100.0	26,912	100.0	7,110	21,363	100.0